

# 株主説明資料

---

2016.3.30



Copyright(c) 2015 by FISCO Ltd.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of FISCO Ltd.  
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

1. FISCOグループのエコシステム

2. FISCOグループのビジネスモデル

3. FISCOグループの戦略的注力領域としてのフィンテック事業

---

1. FISCOグループエコシステム

2. FISCOグループのビジネスモデル

3. FISCOグループの戦略的注力領域としてのフィンテック事業

## FISCOグループエコシステム

- 様々な分野の企業買収を実施し、新たな分野での事業ナレッジとキャッシュフロー/含み益を蓄積
- 得られた事業ナレッジとキャッシュを各企業の事業へ投入することにより、最先端の事業機会を創出/新規事業領域の育成をし、さらなる高成長企業/事業分野へと転換

### FISCOグループの 投資/バリューアップ事業

#### 事業 内容

多岐に渡る分野で再生余地のある企業を割安に買収し、投資/バリューアップを実施

- 経営人材の派遣
- 財務状況の改善
- 成長戦略の策定/実行支援

#### 買収に より獲得 する利益

新規事業分野でのナレッジ/バリューアップノウハウを獲得するとともに、今後の投資資金となるキャッシュを獲得

- ビジネスを通じて得られる事業ナレッジ
- バリューアップのノウハウ/知見
- キャッシュフローや含み益増大による投資資金

### さらなる高成長企業/ 事業分野へと転換

各企業の事業分野に事業ナレッジと資金を投入することで、最先端の事業機会を創出し、新規事業領域を育成

- 各種定量分析とビジネス上の付加価値の高い示唆出しといったFISCOの強み/ケイパビリティを活用
- SJIとネクスグループのIT/通信技術を用いたソリューション提供力も活用

買収に伴い懸念されるのれん代の発生以上に  
買収によるシナジー効果がグループ企業には存在

## 新たな事業分野における事業ナレッジの獲得

- 多様な分野で企業買収を行うことにより、新たな事業分野における事業ナレッジを獲得
- 現時点で、金融/IT/通信/広告/旅行事業と大きく分けて5つの事業分野に関わるナレッジを保有



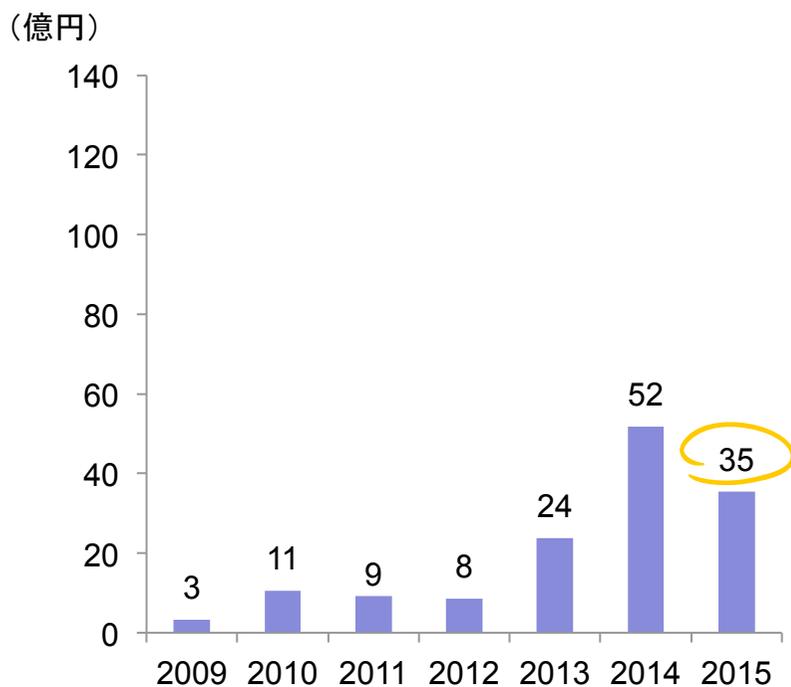
## 企業買収/投資事業を通じたキャッシュフロー/含み益の増大

- 企業買収/投資事業を通じて、FISCOグループは将来のさらなる投資につながるキャッシュの増大と含み益の増加を実現

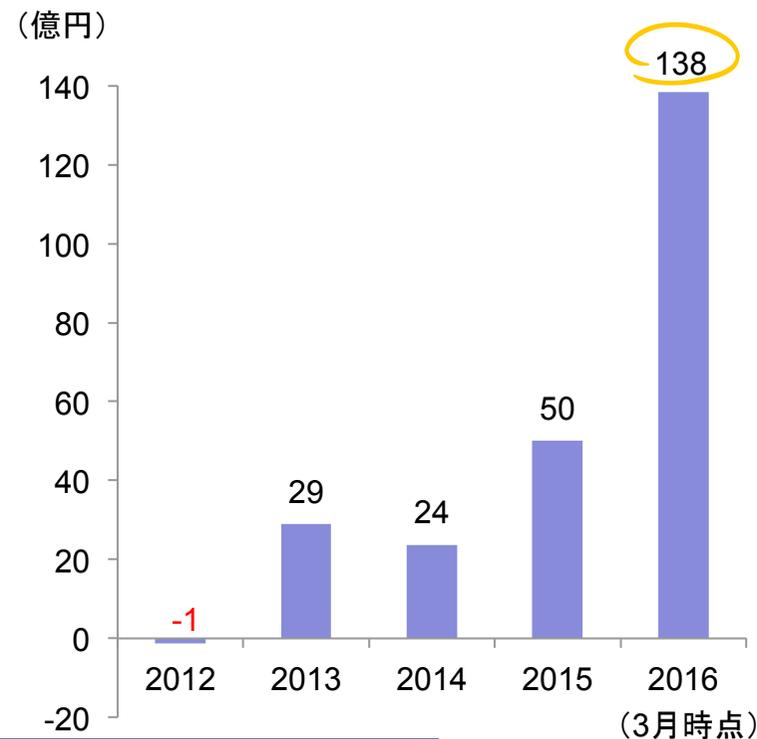
買収後の収益改善を通してキャッシュフローを改善し、現預金残高を積上げ

株価時価総額をはじめとする含み益の増加が顕著

FISCOグループの現預金残高の推移



ネクス/SJIIに対する含み益の推移



株価も連結の業績推移に合わせて  
2016年3月時点で7年前対比10.5倍に上昇

---

1. FISCOグループエコシステム

2. FISCOグループのビジネスモデル

3. FISCOグループの戦略的注力領域としてのフィンテック事業

## 現在のFISCOグループ3社(フィスコ/ネクスグループ/SJI)統合のビジネスモデル

- 3社それぞれの強みを活かし、各社相互にグループシナジーとしての付加価値を提供
- 経営/金融/IT/通信分野をコアとした総合知をベースに強力な事業運営を実施



経営/金融/IT/通信をコアとする総合知をベースにした事業運営こそがFISCOグループのコアコンピタンス

## ● 技術動向の提供

- IoTやロボット等マーケットで注目される技術分野に関しては、FISCOはネクスからIT業界の最先端の情報を取得し、コメントや情報を随時配信

### FISCOの技術関連銘柄に対するコメント例

“中小型のIoT関連銘柄として関心高まる展開”

“ロボット関連の本命銘柄としてもう一段高へ”

“好需給とロボット関連のテーマ性に注目”

“IoTによる監視カメラ自動化などに注目”

“スマホゲームの本格参入や  
プレステVRによる  
成長期待は大きい”

“フィンテックの市場規模は右肩上がりに拡大”

## ● 最先端事業機会の創出/新規事業領域の育成

- FISCOの金融分野で培ったデータ分析の知見を活用し、ネクスで農業分野の経営を可視化する最先端の事業機会を創出
- 将来的には、農業事業主への与信判断/貸付を可能とするデータ収集/分析のためのインフラ整備事業を新規事業領域として育成
- 加えて、農業分野以外のアナログな経営を行う事業分野へもビジネスを横展開

### 最先端事業機会の創出

### 新規事業領域の育成

#### 農業分野での 新たな 取り組み

- フィスコとネクスグループの協業により、農業分野で農業を取り巻く環境のデータベース化を実施
- これまで感覚で行われていた分野において、様々なデータを収集/分析することでデータに基づく農業経営を可能に

- 将来的には、農業事業主へのデータに基づく与信判断の仕組みを構築予定
- 農業事業主に対して様々な資金調達オプションを付与できるようなデータインフラを整備予定

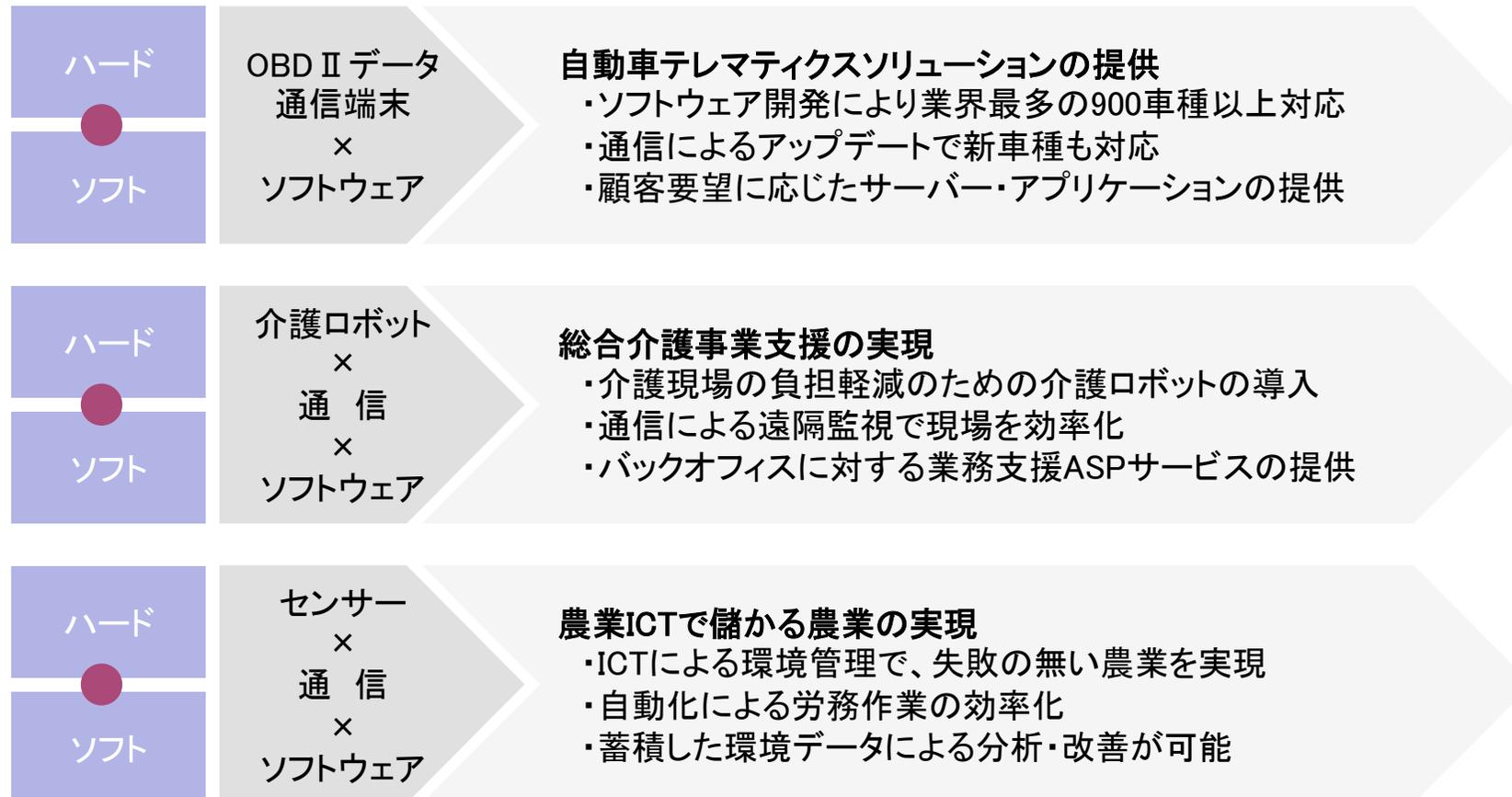
#### 他分野への 応用

- 農業のようにアナログな経営を行っている業種(例: 漁業/伝統的な酒類の醸造事業等)で経営に関わる様々なデータを収集する事業を実施

- 将来的には、与信判断や様々な資金調達オプションを付与できるようなデータインフラを整備予定

## ● ハードとソフトの融合

- ネクスグループとSJIの協業により、高付加価値通信デバイスと市場ニーズに合わせたソフトウェア開発を掛け合わせ、最適なサービスを一通貫で提供



## ● ITソリューションの提供

- FISCOの仮想通貨取引所(ex.ビットコイン)設立にあたっては、SJIがこれまでの金融システム開発の経験を活かして取引所システムの開発を実施

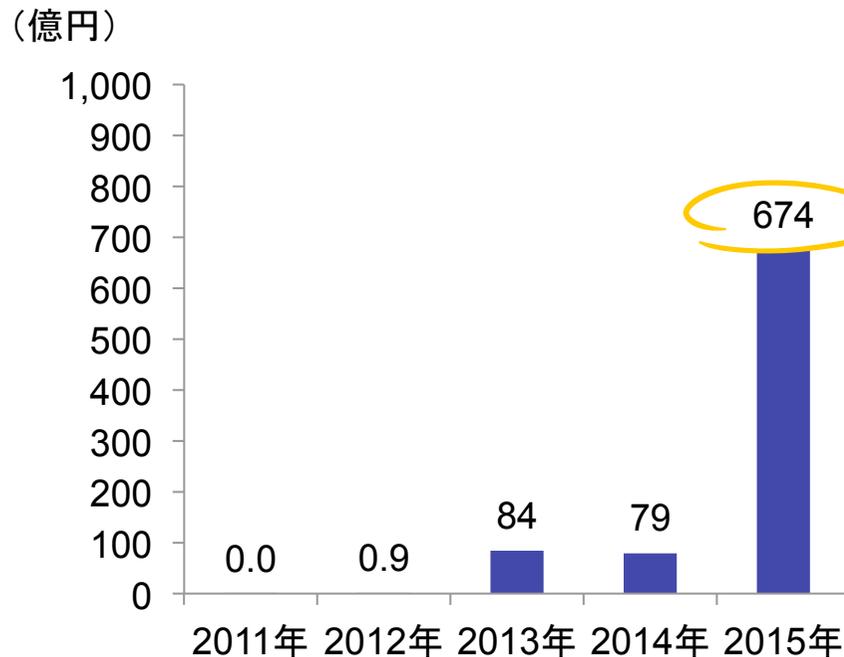
## 仮想通貨取引所システム(イメージ)



● 最先端事業機会の創出/新規事業領域の育成

- 今後、起こるであろう金融市場の変化/パラダイムシフトをいち早く察知
- フィンテック領域を戦略的注力領域と位置づけ、この文脈でFISCOとSJIは様々な場面で協業
- 仮想通貨市場のさらなる拡大を前に、仮想通貨取引所システムの開発を新規事業の柱として最先端の新規事業機会を創出する目的で既に様々な取組みを実施

国内仮想通貨取引高の推移



取引枚数  
(万BTC)

0.0    11    43    13    172

最近のSJIにおける  
フィンテック分野の取組み

- 2016/1月
  - テックビューロ社とのブロックチェーン技術のフィンテック実証実験と販売に向けた協業を開始
- 2016/2月
  - フィンテック戦略室を社内に設置
  - AI株価自動予測システム開発開始
  - クラウドファンディングシステム開発開始
  - 人工知能(AI)分野における共同研究を開始
  - 先端技術研究所を設置
  - フィンテック戦略室顧問の招聘
  - 預金口座管理に関するブロックチェーン技術の実証実験を開始
- 2016/3月
  - FISCOが仮想通貨取引所設立にあたり、システム開発を行うことを決定

---

1. FISCOグループエコシステム

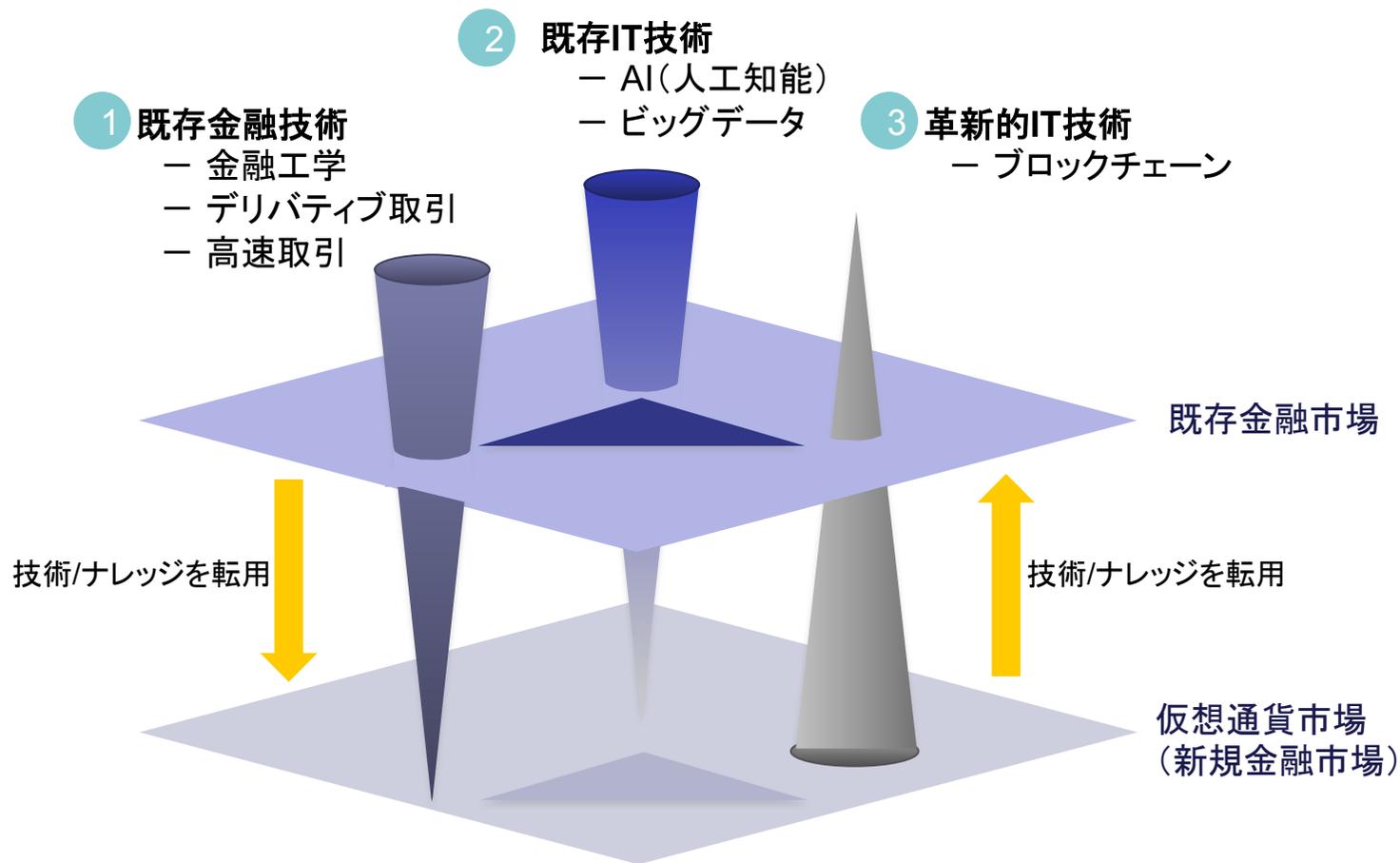
2. FISCOグループのビジネスモデル

3. FISCOグループの戦略的注力領域での取り組み

## FISCOグループの戦略的注力領域(フィンテック分野)での取り組み

- 既存金融市場と仮想通貨市場の双方で様々な金融ビジネスを展開/模索
- 両市場の技術/ナレッジを相互に転用することで、FISCOにしか出来ないこれまで以上にユーザー志向の”次世代の金融サービス”、”ネオバンクサービス<sup>\*1</sup>”を構想/展開することが可能

### フィンテック分野におけるFISCOグループの取り組み(イメージ図)



15 1.従来の金融機関が担ってきた預金/送金/融資等のサービスに最先端のフィンテック技術を掛け合わせるにより、圧倒的にユーザー志向かつ利便性の高い新たな金融サービスのこと

## FISCOグループの戦略的注力領域(フィンテック分野)での取り組み

- 今後、早期に先端技術の獲得が必要と判断した領域については、既にFintechベンチャー/Techベンチャーとの協業を決定済み
- 各社との協業から、これまで以上にユーザー志向の新たな”次世代金融サービス”を模索/展開予定

	技術	ビジネス内容	関連するFISCO グループ企業	協業企業
既存 金融技術	金融工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業IRサポート</li> <li>• マーケットリサーチ</li> <li>• 個人投資家向けサービス</li> <li>• 各種金融情報の提供サービス</li> </ul>		特になし (長年のFISCOの経験により対応可)
	デリバティブ取引			
	高速取引			
既存 IT技術	AI(人工知能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AI株価自動予測システム</li> </ul>		白ヤギ コーポレーション
	ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IR説明会の音声情報の即時テキスト化等</li> </ul>		
革新的 IT技術	ブロックチェーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FISCO COIN取引所</li> <li>• 仮想通貨/ブロックチェーン技術を用いた各種金融サービス</li> </ul>		

早期の技術獲得が必要と判断した領域

## 本日のまとめ

---

- FISCOグループは様々な分野での企業買収を実施しており、買収企業への投資/バリューアップを行うことにより、キャッシュ/含み益に加えて事業ナレッジの3つを蓄積
- 得られたキャッシュと事業ナレッジを各グループ企業の事業へ投入することにより、最先端の事業機会を創出または新規事業領域を育成し、さらなる高成長企業/事業分野への転換を企図
- また、各社の強みを活かして相互に高付加価値サービスを提供し合うと共に、経営/金融/IT/通信分野をコアとした総合知をベースに強力な事業運営を実施出来ることこそがFISCOグループのコアコンピタンス
- 今後の更なる成長に向けては、フィンテック分野を戦略的注力領域と位置付け、既存金融市場と仮想通貨市場の双方で様々な金融サービスを展開予定
- 両市場の技術/ナレッジを相互に転用することで、FISCOにしか出来ない、これまで以上にユーザー志向の”次世代金融サービス”を展開していく方針

FISCOグループの今後の更なる成長にぜひご期待下さい